



始めよう! あなたの町でも。



認知症ケアマネジメント地域推進ガイド

# あなたの町で認知症ケアの 人材とチームを育てよう



本ガイドは平成22年度老人保健健康増進等事業により作成しました

発行元 特定非営利活動法人 地域生活サポートセンター  
TEL:03-3986-8176 / FAX:03-3986-8172  
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-9-8-203

制作協力 認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室  
TEL:03-3334-1150 / FAX:03-3334-2156

発行 平成23年(2011年)3月

地域生活サポートセンター

協力:認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室

# あなたの町でも認知症の人を支える人材・チームを育てよう

## 認知症の人を支える人材が育っていますか？

### 市区町村の担当者からみた主な課題

- 職員の認知症理解に差があり、施設・事業所間の認知症ケアの質に格差がある
- 認知症の人も増え、対応困難事例が増加しているが、ケアマネジメント力が不十分で対応しきれていない
- 一定の職種に偏った研修が多い
- 認知症ケアやケアマネジメントについて知識を得る機会が少ない
- 改善の必要性を認識しているが、人員不足のため、具体的対応を検討できない
- 実践的な力量をつける研修の組み立て方がわからない

### 都道府県の担当者からみた主な課題

- 認知症高齢者のケアが十分対応できていない
- ケアマネジメント上、情報収集は重要であるが、観察や聞き取りが十分できず、介護者中心のケアマネジメントに傾いている
- ケアマネジャーに対する資質向上研修に、認知症に特化したものが少ない
- 認知症ケアについて介護職等の研修機会が少ない
- 認知症介護実践者研修修了者の質確保のためのフォローアップが必要
- 認知症ケア人材育成全体を視野に入れた検討が必要

※平成22年度認知症ケアマネジメント自治体調査より

地域の人材を地域で育てていく  
系統的な研修が必要

## 今、求められていること

- 1 地域の認知症の人を地域で支える人材が育つ研修
- 2 認知症の基本から学べる研修
- 3 多職種と一緒に学べチームが育つ研修
- 4 現場での実践に、即役立つ研修
- 5 地元で講師や推進役を担える人材が育つ研修
- 6 単発ではなく、継続的にステップアップしていく研修

## 地域人材育成プログラムが開発されました！

取り入れた地域では、成果が着実に上がっています（次ページ参照）。

認知症ケアのポイントを学び  
チームで支える人材が育つ

地域でよりよい認知症ケアを  
普及推進する人材が育つ

地元の人材が地域の  
人材・チームを育てていく

### STEP1-1

本人本位の  
認知症ケアの  
基礎を学ぶ

現場  
実践

### STEP1-2

認知症ケアのポイントと  
チーム協働を  
実践的に学ぶ

現場  
実践

### STEP2

地域の仲間と共に  
地域で認知症  
ケアを  
推進する力を  
つける

現場  
実践

### STEP3

地域人材やチームを  
育てる力をつける

地域の推進役  
として活躍

新たな対象に、  
STEP1～3を  
計画的に繰り返す

スタート

1か月

2か月

3か月

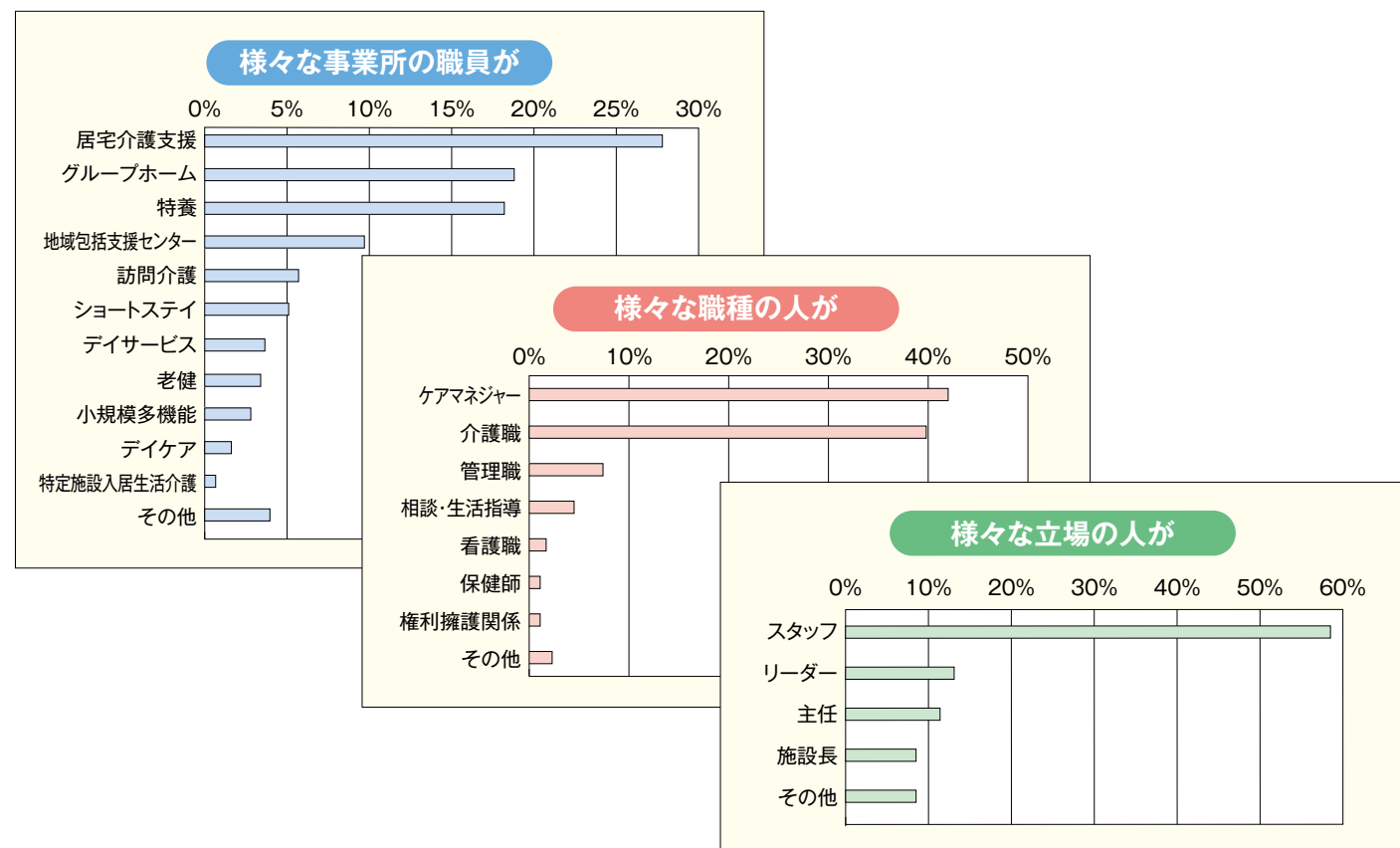
次のスタート





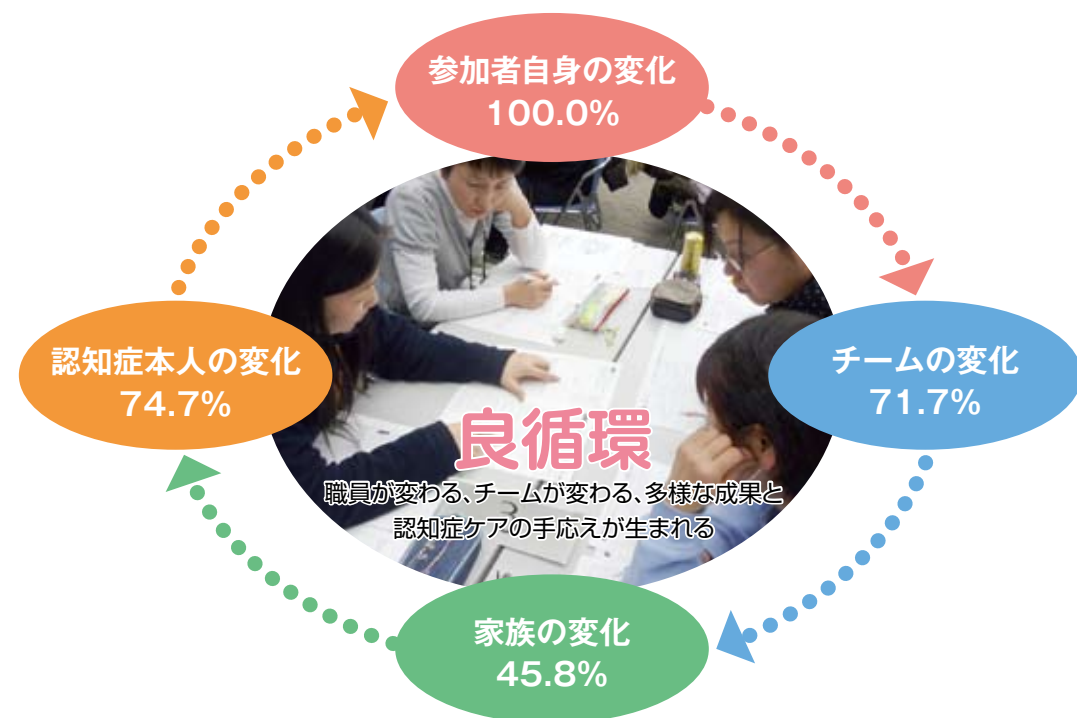
# こんな人たちが一緒にプログラム参加し、学び、育っています。

(平成22年度人材育成プログラムを取り入れた自治体調査より)



# 地元でプログラムを実施することで多様な成果があがっています。

～ステップ1を終えた人たちのプラスの変化～



# 人材育成プログラムを活用した地域の人たちの声

## 自治体担当者の声

### <県保健圏域担当者>

ほとんどの在宅介護支援事業所に推進役養成まで修了したスタッフが配置されることになり、今後の居宅のスキルアップにつながっていくとよいと感じている。修了者がそれぞれの状況にあわせて、推進役としての活動を目指せるよう、今後の継続支援が必要。

### <市担当者>

多くの参加者の視野が広がり、より近くで利用者を見つめ、一歩踏み込んだケアマネジメントを行うようになった効果がある。個別性にあわせたチームケアに取り組み始めた。行政がやらなければ、認知症地域ケアの標準化は図りにくい。責任を持って認知症ケアを担う人材育成を推し進めていくことが必要。

### <地域包括支援センター担当者>

日々の業務に流されがちな中、「本当の認知症ケアとは・・・」と悩みながら取り組み、積み上げていくことで、チームとして取り組むことに目覚めた人もあり、有意義な研修だった。今後は参加できなかったスタッフへ学んでもらう機会を設けようと企画している。

## 参加者の声

- 研修に参加してから「介護」に対する自分の考え方、取り組む姿勢が大きく変わった。以前よりも本人をしっかり見ようとして考え、本人との関係を作ろうとしていけるようになった。
- 皆で協力して本人を知ろうとする、そして、それをどう活かしていくのか考えることができた。まずは自分から思いを伝え、実行しながらチームを創ってほしいと思う。
- 参加して一番変わったのは自分だった。相手の表情、しぐさ、すべてに意味があるとわかっていても、どう読み取るのかわからなかったが、この機会に学ばせてもらった。
- 考え方・視点について理解を深めることで、自分自身の「個別ケア」についての考え方を再認識した。また、所属事務所全員に発信する良いきっかけとなり、道具となっている。
- 利用者の変化、気づきを仲間と話し合い、共通の意識ができ、やりがいを感じた。今まで受けた研修の中で、自分にとって一番プラスになった。
- 他のいろいろな施設の人たちと話すことで、一つの事を色々な角度から見ることにより、今まで見えなかったことが少しずつ見えてきて、一歩前進できた気がした。
- 地域の色々な人と出会え、ふだんも話しあえるつながりができて、仕事上も、自分としてもよかった。

自身の日々の実践を振り返る



鹿児島県奄美市

多職種が集い、共に学ぶ

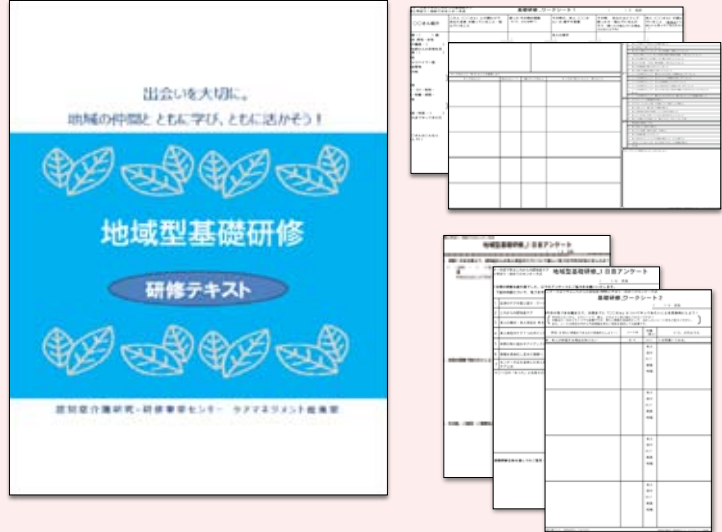


静岡県富士宮市



# ステップを踏んで、地元人材 とチームを着実に育てよう

～地元のみんで楽しく、一歩ずつ～

	研修名	ねらい	時間	人数	特徴	共通ツールのパッケージ (研修テキスト・ワークシート・アンケート等)
STEP 1-1	地域型基礎研修① まずは認知症ケアの 基本をていねいに!	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人本位の認知症ケアの実践にむけた視点とケアのポイントを学びます。</li> <li>● 参加者が自身のケースをもとに、具体的に考えます。</li> </ul>	5時間	約30人	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各ステップ共、グループワークを取り入れ、地元の人たちの交流やつながりを育てます。</li> <li>② 共通の視点や実践力をつけていきます。</li> <li>③ 研修を効果的かつスムーズに開催するために、研修テキスト、ワークシート、講師用スライド、資料、アンケート等が、パッケージ化されています。</li> </ul>	
STEP 1-2	地域型基礎研修② チーム協働を 実践的に!	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1か月間の現場実践を通して得られた気づきを、仲間と共有しながら本人本位の認知症ケアを、チームで行なうためのポイントを具体的に学びます。</li> <li>● 実践に即役立つヒントを見つけます。</li> </ul>	5時間	約30人	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 講師やファシリテーター役の確保は、開催地域と相談しながら、認知症介護研究・研修東京センターケアマネジメント推進室がサポートします。</li> </ul>	
STEP 2	地域推進研修 地域で認知症ケアを 推進する力をつける!	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人本位の視点や支援を事業所や地域で伝えていくポイントを実践的に学びます。</li> </ul>	6時間	約30人	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ ステップ3を終えた参加者が、次の人材を育てるために、ステップ1の講師やファシリテーターを担ったり、地域の学習会などを企画・推進していきます。そのプロセスを認知症介護研究・研修東京センターケアマネジメント推進室がサポートします。</li> <li>⑥ 参加しやすく、長続きできる研修となるよう、地元の実情にそいながら柔軟に日時や規模を調整しながら実施していただけます。</li> </ul>	
STEP 3	地域推進 トレーニング研修 地域人材やチームを 育てる力をつける!	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加者の悩みや課題に向きあいながら、本人本位の視点に立った人材やチームを育てていくためのポイントを実践的に学びます。</li> </ul>	6時間	約30人	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ 各地域の推進役の人が集まり、互いのスキルアップやネットワークをはかる機会も用意されています。</li> </ul>	

各研修についての詳細は認知症介護研究・研修東京センターケアマネジメント推進室のホームページ「いつどこネット」(<http://itsu-doko.net/>) をご覧ください。

